

## LPガスタンクローリの一斉点検結果と法律上の見分け方



1. LPガスタンクローリー一斉点検結果を下表に示します。

年度	2020年度			2021年度		
	登録台数 (2020年登録)	点検台数	受検率	登録台数 (2021年登録)	点検台数	受検率
①タンクローリ (含トレーラ)	2,377	2,143	90%	2,291	2,169	95%
②移動式製造設備 (工業用専用バルクローリ)	488	490	100%	514	483	94%
③充填設備 (民生用専用バルクローリ)	573	447	78%	700	411	59%
④ ②.かつ③ (工業・民生用兼用 バルクローリ)	1,525	1,004	66%	1,450	1,022	70%
①～④の合計	4,965	4,084	82%	4,955	4,085	82%

### 2021年度一斉点検結果

- ①タンクローリの受検率は、例年90%以上を確保しており、本年も同レベルであった。
- ②移動式製造設備（工業専用バルクローリ）の受検率は94%と高い水準にある。
- ③充填設備（民生用専用バルクローリ）受検率は78%から59%となり減少した。
- ④（工業・民生兼用バルクローリ）受検率は前年度66%から70%と増加した。
- ①～④の合計の受検率は、82%と昨年同様であった。

2. LPガスタンクローリの種類の区分（①～④）が正しく理解されるよう「LPガスタンクローリの法律上の種類」を参考に受検するようお願いします。

LPガスタンクローリの法律上の種類			
①タンクローリ (トレーラ含む)	②移動式製造設備 =工業用専用 バルクローリ (いわゆる 従来型バルクローリ)	③充填設備 =民生用専用 バルクローリ (いわゆる 新型バルクローリ)	④移動式製造 ・充填設備 (工業・民生用 兼用バルクローリ)
<p>&lt;タンクローリ&gt;</p>  <p>&lt;トレーラ&gt;</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器則による容器検査必要</li> <li>・同じく容器再検査必要(5年毎。製造後20年経過以降、製造年度により2年～1年毎)</li> </ul>	<p>ポンプ・コンプレッサ等製造設備を搭載</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器は1.と同様の検査必要</li> <li>・加えて、高圧法の製造許可が必要</li> <li>・同じく定期自主検査、保安検査が必要(それぞれ毎年)</li> </ul>	<p>ポンプ等の充填設備を搭載</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器は1.と同様の検査必要</li> <li>・加えて、LP法上の<b>充填設備</b>の許可が必要</li> <li>・同じく保安検査が必要(毎年)</li> </ul>	<p>・従来型バルクローリを民生用に使う兼用</p> <p>・高圧法及びLP法両方の規制(一部技術基準を緩和)</p>  <p>・新型バルクローリを工業用に使う兼用</p> <p>・高圧法及びLP法両方の規制(一部技術基準を緩和)</p> 